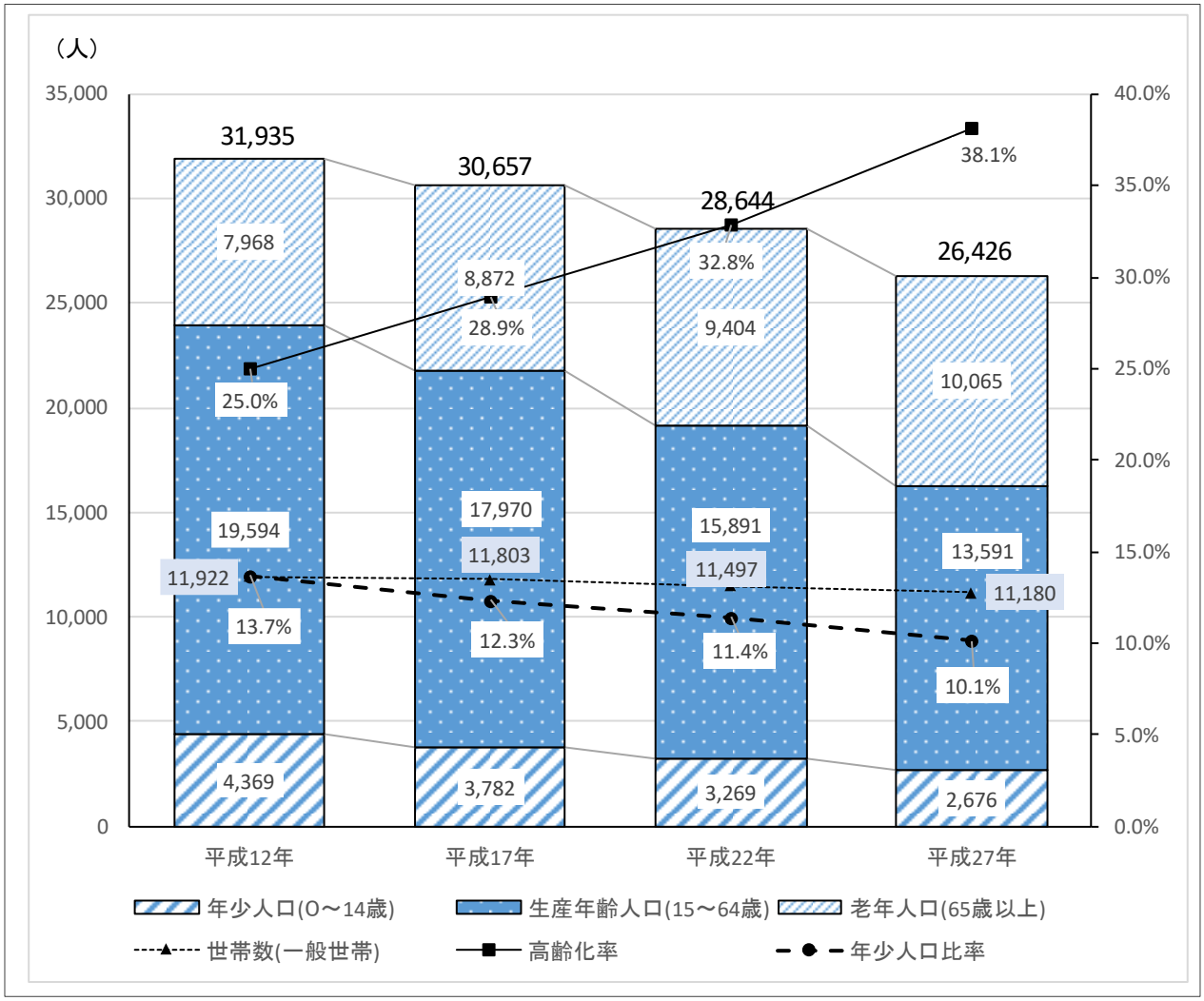
竹原市の状況

（1） 人口・世帯等

市の人口の推移を国勢調査結果でみると，減少傾向にあり，平成 12 年から平成 27 年では 17.3%の減となっています。

また，世帯数も微減の傾向となっています。

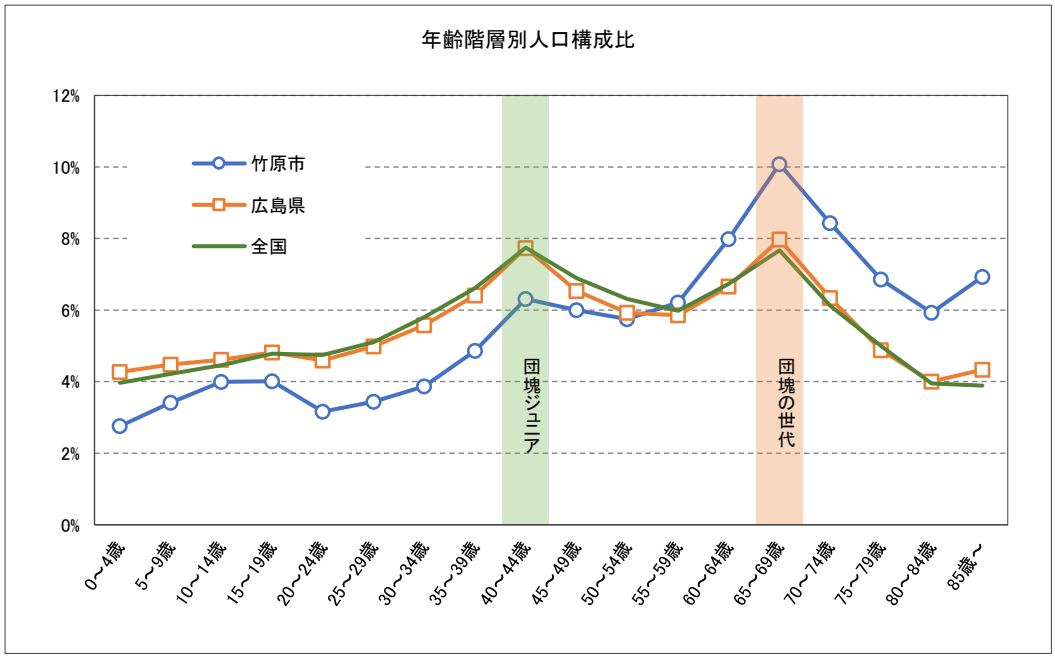
一方，年少人口及び年少人口比率は減少傾向にあり，高齢者人口及び高齢化率は増加傾向にあります。



資料：国勢調査

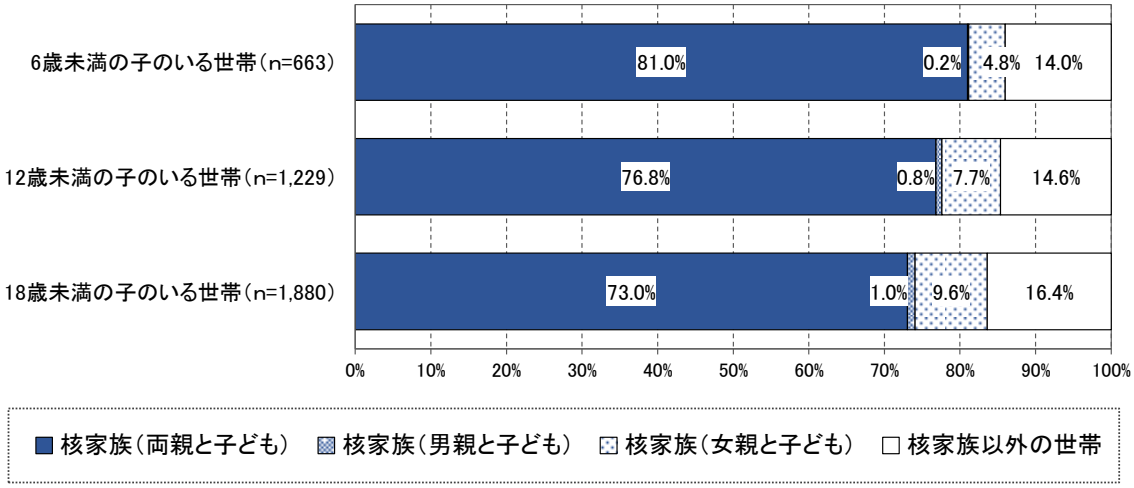
（2） 年代別人口構成比

年代別人口構成比をみると，20 代若年層の流出が見られ， 65 歳以上の団塊の世代が占める割合が高く，少子高齢化が進んでいます。



（3） 子のいる世帯の家族構成

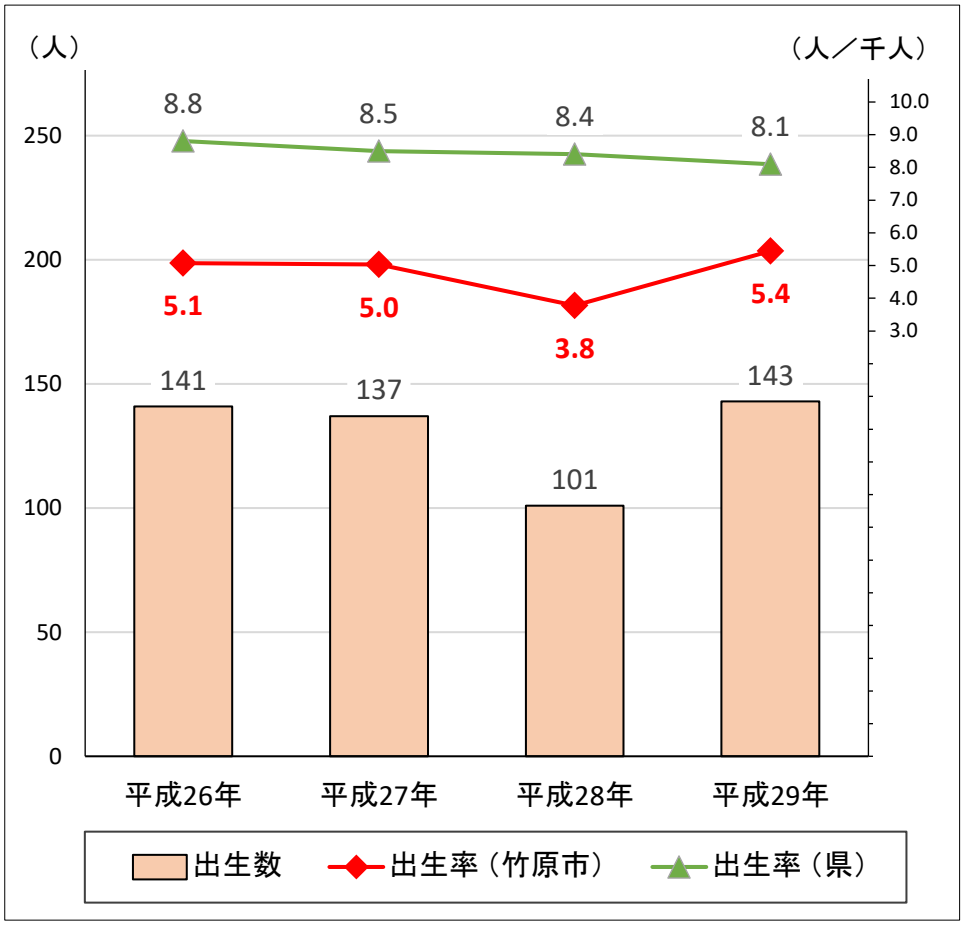
子のいる世帯の８割以上が核家族となっています。また，６歳未満の子のいる世帯では 5.0%，18 歳未満の子のいる世帯では 10.6%がひとり親世帯となっています。



資料：平成 27 年国勢調査

（4） 出生の動向

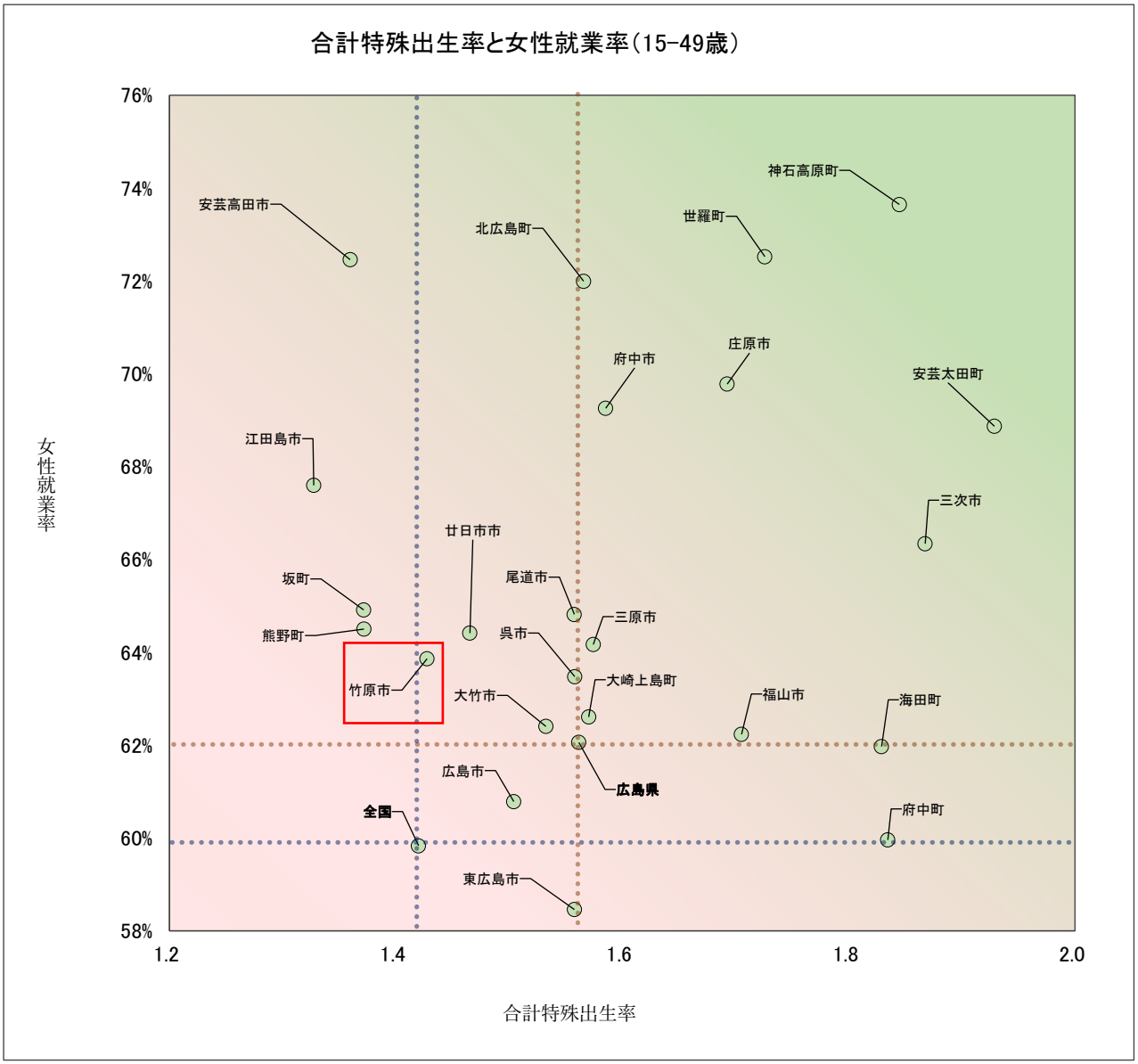
出生数は減少傾向にあり，人口千人あたりの出生率は県と比べて低い数値で推移しています。



資料：住民基本台帳

（5） 合計特殊出生率と女性の就業率

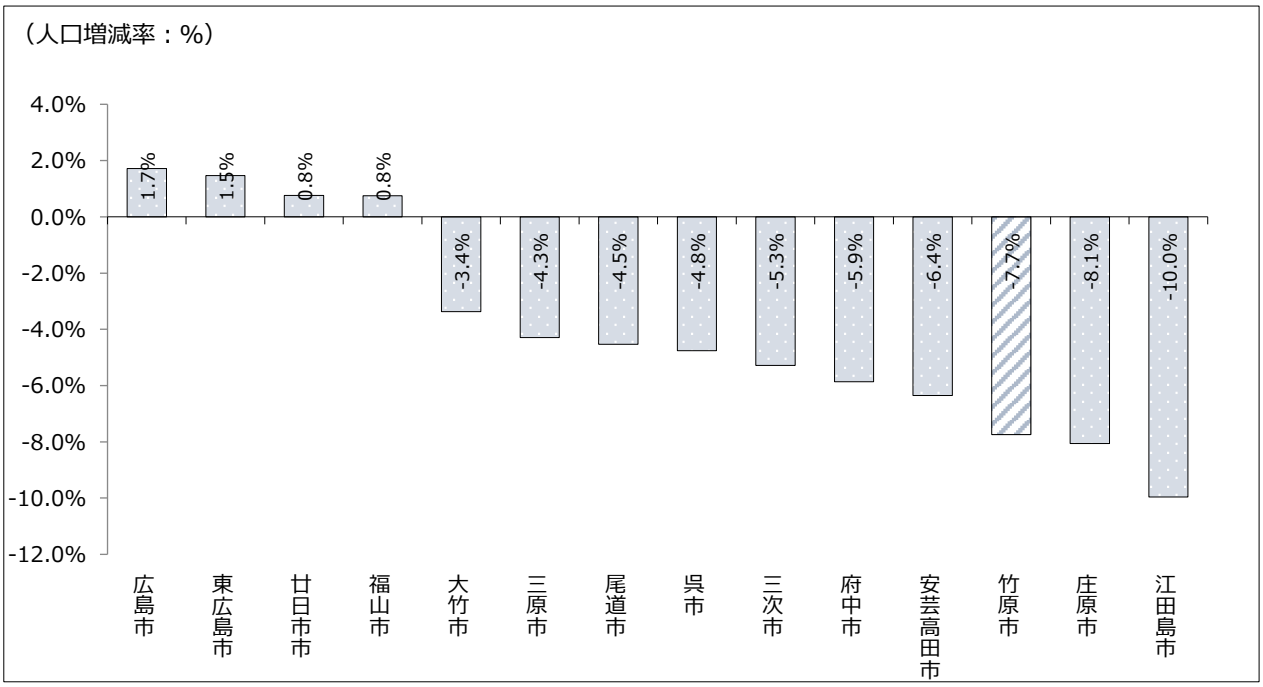
市の合計特殊出生率は県平均よりも低く，女性の就業率は県平均よりもやや高い数値を示しています。



資料：平成 27 年国勢調査、人口動態統計

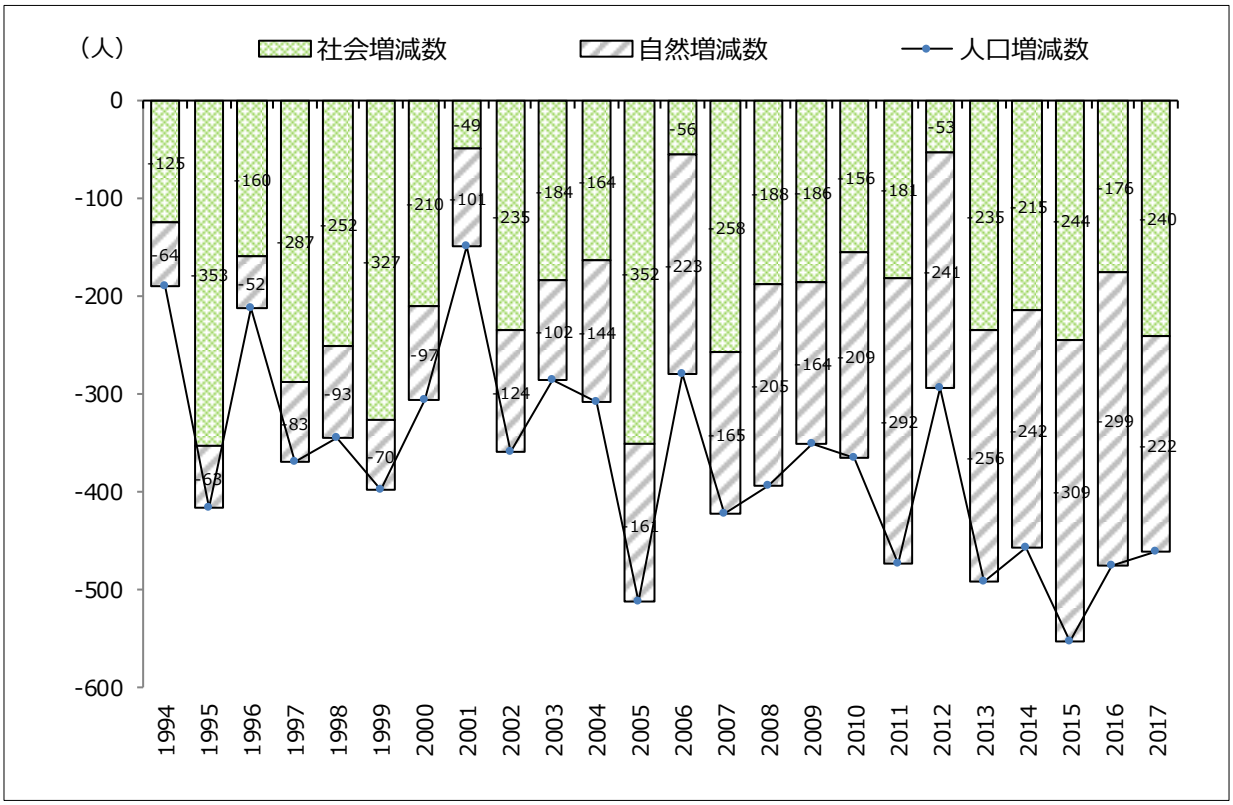
（6）人口増減率

国勢調査結果による平成 22 年から平成 27 年の人口増減率を県内各市と比較してみています。



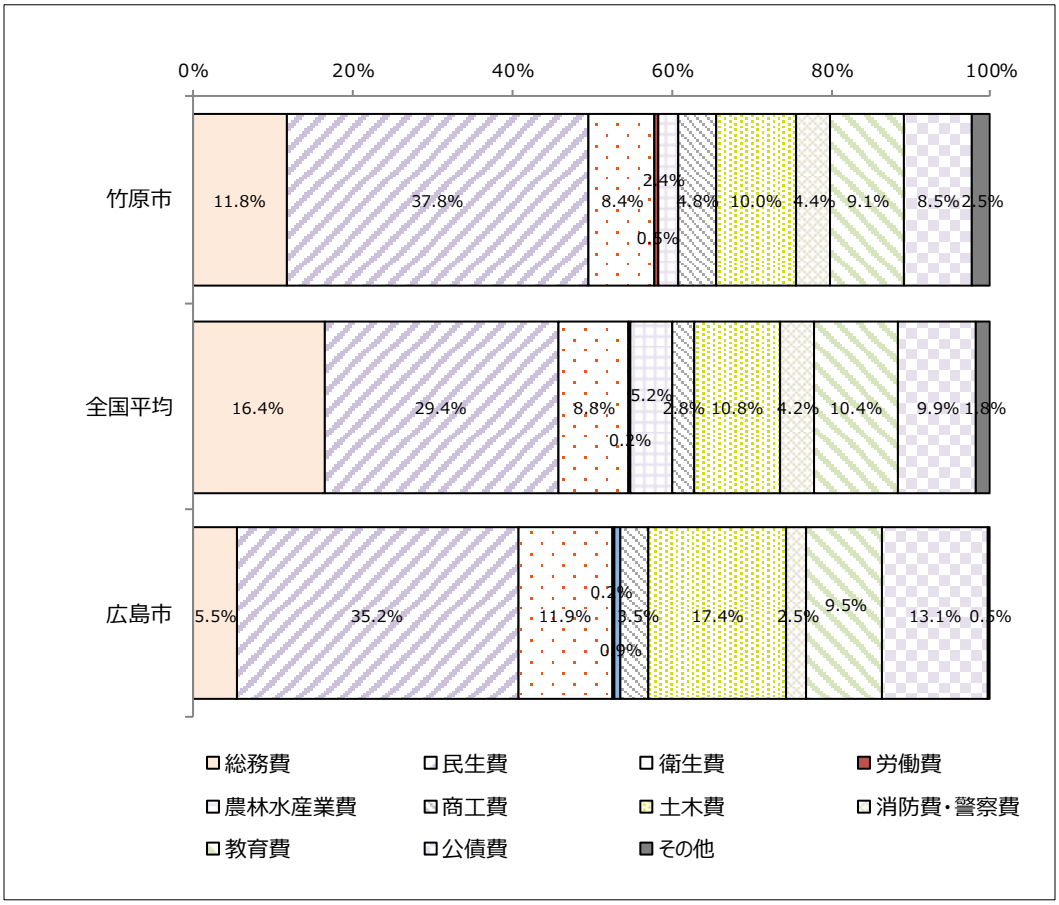
（7）自然増減・社会増減の推移

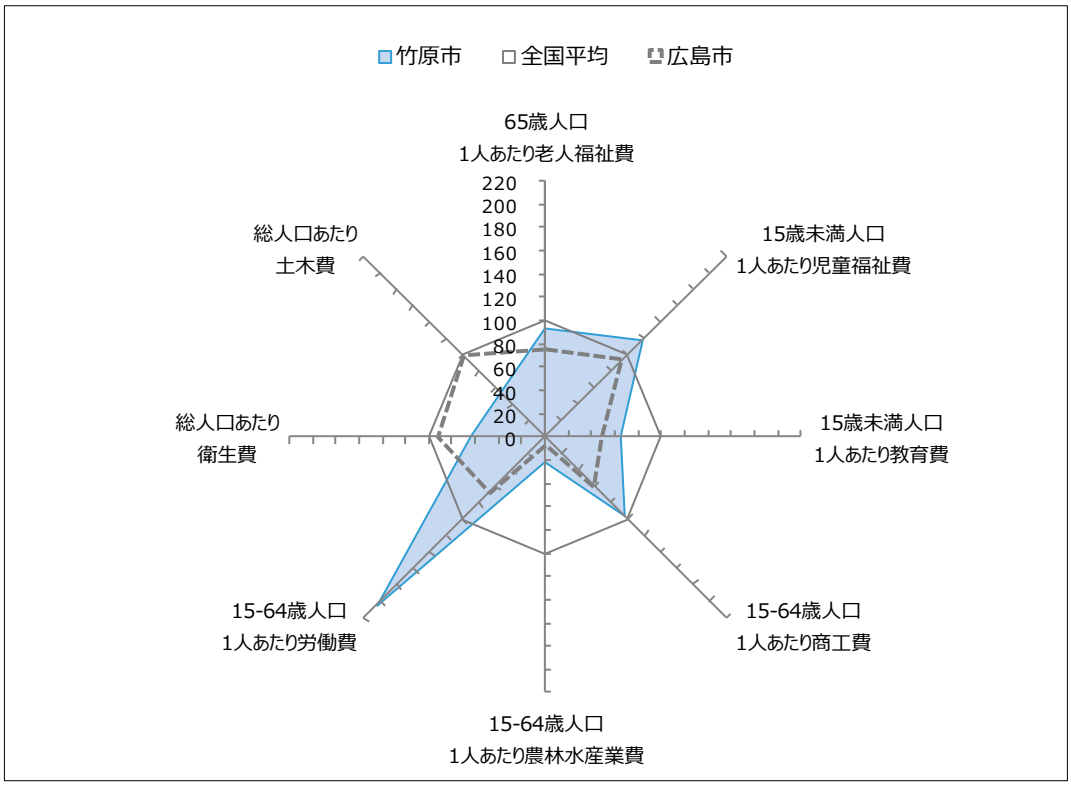
現在までの人口推移に「出生・死亡による自然増減」「転入・転出による社会増減」の２つの要因が与えた影響をみています。



（8） 目的別歳出決算額の比較（平成 28 年度）

市の目的別歳出決算額を比較してみています。この比較によると，15 歳未満人口の 1 人当たり児童福祉費の割合が高くなっています。





各費目の詳細は以下のとおりです。
総務費・・・・・庁舎の維持管理や職員給与など
民生費・・・・・福祉の充実など
衛生費・・・・・医療の充実やゴミの処理など
農林水産費・・・農林水産業の振興など
商工費・・・・・経済，観光振興など
土木費・・・・・道路や公園の維持管理など
消防費・・・・・消防施設の維持管理など
教育費・・・・・学校教育費や生涯学習の推進など
公債費・・・・・借入金の返済など
その他・・・・・議会費，労働費，災害復旧費など